

Home. Vol.4

帰ってくる場所があるから、未来へと踏み出せる。



人と人のつながりが、
今の私をつくり上げています。

Chiba Keiai Junior College

特集：つながり

1. 人のつながり
2. 校友会と千葉敬愛短期大学のつながり
KEIAI☆フェスタ・ホームカミングデイ ～70周年に向けて～

Home. Vol.4

帰ってくる場所があるから、未来へと踏み出せる。
2020年5月発行



千葉敬愛短期大学は数多くの優れた人材を輩出し、
多くの卒業生が小学校、幼稚園や保育所などで活躍しています。
また同級生、先輩や後輩とのつながりの深さも特徴といえます。
こうした本学のブランドや本学での学びを基本に、
卒業生が今なお学び続ける姿をお伝えする目的で本誌を発行しました。
受験生におかれましては、職場で活躍している卒業生のエピソードを通じて
ご自身の将来像を描いていただきたいと思います。
一方、校友会会員の皆様におかれましては、大学卒業後の会員のご活躍ぶりをご寛いただき、
同じ志を持つ仲間として意識共有を図るのももちろんのこと、
会員の皆様同士のつながりがより一層深まることを願っております。

 **千葉敬愛短期大学**

〒285-8567 千葉県倉市山王1-9 TEL:043-486-7111(代表) FAX:043-486-2200 発行/千葉敬愛短期大学校友会
千葉敬愛短期大学校友会 HP <http://www.chibakeiai.ac.jp/kouyukai/>

Message ~千葉敬愛短期大学校友会のさらなる充実・発展のために~

卒業生同士で人の輪を作りましょう

昔から、「金を残すは下、名を残すは中、人を残すは上」と言われています。私はこのフレーズが好きです。元ヤクルトの野村監督も著書の中で好んで使っています。

これまで勤務してきた大学での37年間の財産は、ゼミの卒業生と長期研修生の先生方を700名近く送り出したことです。卒業生は一期生から三十五期生までいます。十周年ごとに会合を開き、記念誌を発行しています。各期の皆さんは、年次ごとに毎年同窓会を開いている期もあります。私も招待され時間があえば参加します。

千葉敬愛短期大学もご承知のように今年七十周年を迎えます。これまでに多くの卒業生を送り出しており、教育・保育を軸に様々な活躍をされています。校友会には、入学式や卒業式の折の学生へのメッセージ、教育活動や各種行事への人的、経済的支援、また卒業後のクラス会にも資金援助をいただいております。また、実習時にも多くの先輩方が手本となり、指導・助言をいただくなど敬愛の絆が広がっております。

「人」を残すのが大学の役目です。七十周年を機に、これまで以上に同窓生のつながりが広がり、また深まってほしいと期待しています。



千葉敬愛短期大学 学長
明石 要一

ブランドブックに寄せて

千葉敬愛短期大学校友会は、1992年に創設され、母校の諸行事に積極的に協力しながら、会員の交流を円りつつ、本会の充実発展を目指して活動を進めてきました。敬愛フェスタ、ホームカミングデー等における校友会会員の活動は、学生の皆様のみならず地域の方々も知るところです。こうした活動を通して、本学の学生が生き生きと学業に専念し、目標に向かって努力されている姿を見てきました。さらにその学生に厳しくも温かく指導される先生方と強い絆が結ばれていることも本学の素晴らしいところです。校友会は本学及び学生の活動を支援するとともに、会員相互の交流を図る取り組みを計画していきます。受験生の皆様には、是非本学に入学されて夢を叶えていただくとともに、校友会の仲間として一生を通して活動をしてまいります。



千葉敬愛短期大学 校友会会長
片山 喜久子

千葉敬愛短期大学のあゆみ

- 1921(大正10年) 八日市場女学校創設
- 1926(大正15年) 財団法人関東中学校創立
- 1950(昭和25年) 千葉敬愛短期大学教育科設置(現:千葉県匝瑺市八日市場)
- 1952(昭和27年) 法経科増設(～昭和44年)
- 1955(昭和30年) 教育科を初等教育科と改称・保健体育教員養成所設置(～昭和48年)
- 1959(昭和34年) 初等教育科移転(現:千葉市稲毛区六川)
- 1962(昭和37年) 初等教育科第二部増設(～昭和62年)
- 1969(昭和44年) 千葉県教育委員会より委託研修生受け入れ(公立小学校教諭資格付与のため)
- 1973(昭和48年) 千葉敬愛短期大学附属幼稚園開園(現:千葉市美浜区高洲)
- 1987(昭和62年) 初等教育科移転(左倉市山王の現在地)
- 1990(平成 2年) 千葉敬愛短期大学国際教養科増設
- 1992(平成 4年) 図書館・特別教室棟、学生会館完成
- 1996(平成 8年) 情報教育研究所開設
- 1997(平成 9年) 国際教養科学生専修停止(学部へ改編転換のため)
- 2000(平成12年) 千葉敬愛短期大学創立50周年
- 2001(平成13年) 保育士養成課程を開設
- 2009(平成21年) 千葉敬愛短期大学総合子ども学研究所開設
- 2010(平成22年) 千葉敬愛短期大学創立60周年
- 2014(平成26年) 初等教育科を現代子ども学科と改称・初等教育コース、保育コースを設置
- 2020(令和 2年) 千葉敬愛短期大学70周年



八日市場女学校創設(1921年)



財団法人関東中学校創立(1926年)



千葉敬愛短期大学教育科設置(1950年)



保健体育教員養成所設置(1955年)



初等教育科移転(1959年)

特集: つながり

千葉敬愛短期大学の卒業生は、学生時代に
学んだことを存分に活かしながら、

保育や幼児教育の現場で活躍しています。

同じ学校で学んだ知識や、同じ経験を通じて

身につけた力は、卒業生同士を深く結び付け、

成長するための大きなエネルギーになっています。

Connection



これまで経験した、人と人のつながりが、今の私をつくり上げています。

さくら敬愛保育園で働く白田沙織さん。昨年から校友会の副会長を務めています。後輩とのつながりや同窓生とのつながり、そして校友会の今後について伺いました。



【白田沙織さんプロフィール】
2013年 千葉敬愛短期大学卒業。2年間の幼稚園勤務を経てさくら敬愛保育園勤務。



【学校とのつながり】 学校と卒業生の架け橋となれるように

白田さんは2013年に千葉敬愛短期大学を卒業。現在、短大敷地に隣接するさくら敬愛保育園で保育士として1歳児の担任をしています。「昨年(2019年)、校友会の副会長に就任しました。在学中にKEIAIフェスタの実行委員長を経験した学生は校友会の役員になるという伝統があり、会議等に参加していましたが、先輩

から「若い世代に頑張って欲しい」と声をかけていただきました。白田さんはKEIAIフェスタの実行委員長を務めたことで校友会の活動を知り、副会長を引き受けたそうです。「実行委員長の時に、KEIAIフェスタのイベント用の景品などを提供していただいたこと

で校友会とのつながりができました。校友会と現役学生の架け橋になればいいと思い、副会長の仕事をしています。今の課題は、もっと多くの人に校友会の活動を知ってもらうこと。SNSによる情報発信などで、校友会の認知度をアップさせたいと言います。



【同窓生とのつながり】 同じことを学んで経験してきたという安心感

白田さんが働くさくら敬愛保育園には、千葉敬愛短期大学の卒業生が4人働いています。同じ学校で学んだ人たちとのつながりについて伺いました。

伊東 「就職して1年目、白田先生と同じクラスだったとき、同じ短大出身ということでスムーズに打ち解けることができました。初めての仕事で不安でしたが、先輩がいることで気持ちがとても楽になりました。」

白田 「前の職場にも短大の先輩が3人いたのですが、この職場にも卒業生がいてすぐに打ち解けることができました。学ぶことは同じでも、自分の時はどうだったかという話をすることで近距離を感じました。」

持田さんは短大では白田さんと同期。学校で学んだことが今の仕事にとても活きていると言います。

持田 「千葉敬愛短期大学は学生活動が盛んで、KEIAIフェスタや体育祭など、学生が主体になって運営を行います。先生から指示ではなく、自分達のやりたいことを自ら企画して行うという体験を通じて、自主性やチャレンジ精神、人前が出る度胸が身につきました。どれも保育士の仕事には欠かせない能力なので、短大で学べたのは本当によかったです。」

秦さんは、白田さん、持田さん、伊東さんたちの少し先輩。後輩たちが日々成長していくのを見られるのはとても嬉しいと言います。

短大時代のことで秦さんが一番印象に残っているのは、学生の考えをすべて受け入れてくれた先生のことでした。

秦 「クラス担任の先生も教科の先生も部活動の顧問の先生も、私たちのやりたいことをすべて受け入れ、「あなたなら大丈夫」といつも言ってくれました。」

教え子の主体性をまず受け入れること。そのことは秦さんの保育の考え方の基本になっているそうです。学校とのつながり、卒業生同士のつながりが皆さんの毎日の仕事を支えています。



秦 麻理子さん
1997年卒業



持田 莉菜さん
2013年卒業



伊東 みさきさん
2016年卒業

【先輩・後輩とのつながり】受け継がれる、実行委員長としての責任

白田さんも担ったKEIAIフェスタの実行委員長の重責。昨年、それを2年生の時に経験したのは、今年卒業したばかりの田中美羽さん。実行委員長を体験することで得た学びや、白田さんとの交流について伺いました。

田中 「1年生の時から学生スタッフとして様々なイベントに関わりとても楽しい経験をさせてもらいました。運営側として「もっと楽しくしたい」と考えていた時に先輩から実行委員長をやらなかと声をかけてもらい、引き受けることにしました。真剣に考えて引き受けたのですが、想像を遥かに超えた大変さでした。

*

KEIAIフェスタ当日が豪雨により1日目が開催できなくなるというアクシデントにも見舞われるなどの苦労もありましたが、実行委員長を経験したことで大きなことを学ぶことができたと言います。

田中 「以前は他人に仕事をお願いするのが苦手で、自分でやった方が速いと考えてしまいがちでした。しかしフェスタの準備とはにかくやる事が多く、実行委員会のメンバーに「忙しいので、これお願い」ということを繰り返すうちに、仲間を信頼して仕事を託すことができるようになりました。このことは今後仕事をしていくために役立つ大きな力になると思っています。

白田 「良い経験をしましたね。KEIAIフェスタは10月なのですが、4月ごろには田中さんからコンタクトがあり、こまめにLINEで連絡を取り合いました。私が実行委員長の時は校友会の方とお話できてから当日まであまり時間が無かったので、私からは必要なことを早めに伝えたいと思っていたので、その点は良かったですね。

田中 「白田さんから前もって情報をいた

けていたので準備の予定が立てやすく、実行委員のみんなに仕事をお願いする時もスムーズでした。ありがとうございました。

*

卒業後は、東京都内の幼稚園に就職することが決まっている田中さんへ、白田さんからアドバイスを伺いました。

白田 「保育園、幼稚園の先生という仕事をしていく上で、自分がリーダーシップを発揮する必要がある場面がきっとあります。そんな時には実行委員長として経験したことがきっと役に立ちます。頑張ってください。



田中 美羽さん
2020年卒業



KEIAI☆フェスタ ホームカミングデイ ～創立70周年に向けて～

校友会では、卒業生の皆さんとのつながりを持続するために短大とホームカミングデイをKEIAIフェスタに合わせて実施しています。

2019年のKEIAIフェスタでは、創立70周年を迎えるイベントとして「敬愛リミット」を行いました。片山会長・小山副会長が3名の卒業生と短大の特権やよさ、在学中の思い出を語り合いました。



幅広い世代による語り合いでしたので、現役学生が知らない昭和の敬短の様子やこれから展開してほしい敬短の姿についても話題になりました。また、校友会で4本の旗を用意し「敬愛の絆」として卒業生間で押リレーをすることにしました。2020年11月22日までに

多くの卒業生の関わりをリレーして短大に帰ってきます。旗には受け取った方の名前とメッセージが添えられるようになっていきます。どんなメッセージを添えて帰ってくるのか楽しみです。

例年、イベントの終了後、先生や友だちと旧交を温める「プチ同窓会」を行っています。久しぶりの再会に日常生活の緊張をほんの少し緩めて、談笑する卒業生の姿が多く見られます。中には、お子さんの手を引いて参加される卒業生もいます。卒業して何年経っても在学中に結んだ絆は切れることはありません。敬短の絆の強さを感じる瞬間です。



校友会は、“つながり”を応援しています



校友会では同窓会(クラス会)を支援します！

同窓会の幹事の方、参加人数がお決まりになりましたら是非校友会にご一報ください。同窓会の会費の援助いたします。同窓会の手続きはホームページから。



KEIAI☆フェスタに参加

2019年10月27日にKEIAIフェスタが開催され、校友会は恒例の「ストラックアウト」で参加。また、卒業生のみなさまにはフェスタ会場で使用できる金券を発行しました。



2019年9月にホームページをリニューアル！

校友会の活動報告、お知らせを随時公開してまいります。また校友会では情報発信手段としてSNSも活用しております。ご登録はホームページから！



総合型選抜(同窓生推薦方式)の出願資格が広がります！校友会(卒業生)のみなさまも推薦者になれます。

注)2021年度入試より同窓生推薦入試は、総合型選抜(同窓生推薦方式)と名称が変わります。

今までの同窓生推薦は、卒業生の子、孫、兄弟姉妹及び、在学生の兄弟姉妹が対象でしたが、千葉敬愛短期大学の卒業生が推薦する方であれば、どなたでも出願資格が得られるようになりました。みなさまの推薦が、千葉敬愛短期大学のDNAをつないでいきます。なお、同窓生推薦の場合、検定料30,000円が免除されます。

出願資格

①本学の諸学の精神を受け継ぐのに値するものとして同窓生が推薦するもの ※校長の推薦書は必要ありません。②本学を尊厳とする③本学卒業生の子、孫、兄弟姉妹 ④在学生の兄弟姉妹 ⑤卒業生が推薦する者 ※本学発行の書類が必要です。必ずお問い合わせください。

お問い合わせ・資料請求

〒285-8567 千葉県銚子市山王1-9
千葉敬愛短期大学 入試係
TEL:043-486-6781(月曜日～金曜日 9時00分～17時00分)